

各位

株式会社トップカルチャー
 代表取締役社長 清水秀雄
 (コード 7640 東証1部)

トップカルチャー 2013年10月期 第3四半期連結業績

売上高過去最高 263 億円！ 四半期純利益増益！

売上高	26,360 百万円	(前年比	105.4%)
営業利益	543 百万円	(前年比	95.5%)
経常利益	375 百万円	(前年比	78.2%)
四半期純利益	168 百万円	(前年比	273.4%)

当第3四半期におきましては、トップカルチャー本体の主力事業である 蔦屋書店 事業の売上高は、大型店の出店および既存店の増床が大きく寄与して伸ばいたしました。物販部門では品揃えの拡充や商品提案力の向上への取り組みが成果を挙げました。一方、レンタル部門では、品揃えの強化が奏功したことと、前期までの低価格戦略を転換し貸出料金を見直ししたことにより売上は引き続き回復傾向となりました。その結果、全店の売上高前年比 105.7% (既存店 99.6%) と増収となりました。

利益面では、超大型新店の出店に伴う販管費の増加があり、営業利益・経常利益ともに前年に比べ減益となりました。なお、前年度には固定資産に対する減損損失 189 百万円が特別損失に計上されましたが、今年度における特別損失は固定資産売却損の 60 百万円にとどまりました。このことなどにより四半期純利益は、前年比 273.4%と増益となりました。

● 主力商品の書籍・文具は好調、レンタルは引き続き回復傾向

書籍・文具は品揃えの拡充、商品提案力の向上への取り組みが奏功し、また超大型店の売上が上乘せとなり、その結果 **書籍は売上高前年比 108.9%(既存店 101.0%)、文具は売上高前年比 110.8%(既存店 99.2%)**と好調に推移いたしました。

レンタルは前期までの低価格戦略を転換し貸出料金を見直しをしたこと、および新作商品やオリジナル商品を中心に品揃えを強化した取り組みが奏功し、その結果 **売上高前年比 101.3%(既存店 101.2%)**と当第2四半期から引き続き回復傾向にあります。

● 埼玉県本庄市に「蔦屋書店」が今秋オープン予定

埼玉県では2012年3月17日(土)にオープンいたしました「蔦屋書店 フォレオ菖蒲店」(埼玉県久喜市)に続く規模となる大型複合書店が、上越新幹線の本庄早稲田駅近くに今秋オープンする予定です。

● 2013年10月期 通期連結業績予想(2012年11月1日～2013年10月31日)

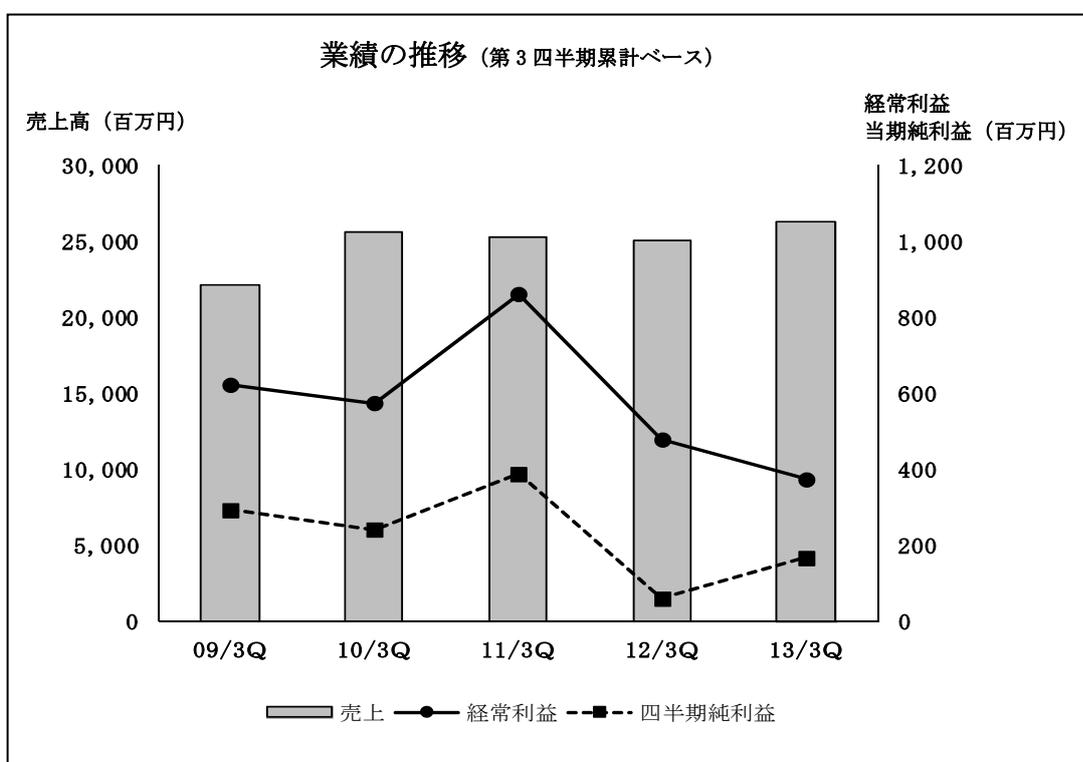
平成24年12月6日に公表いたしました通期業績予想に変更はなく、売上高 38,300 百万円 (前年比 115.7%)、経常利益 1,200 百万円 (同 202.1%)、当期純利益 660 百万円 (同 607.6%) を予想しております。

1. 業績の概要

【連結サマリー】

(百万円)

	2012年10月期 第3四半期		2013年10月期 第3四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	25,019	100.0	26,360	100.0	105.4
売上総利益	7,976	31.9	8,386	31.8	105.1
営業利益	568	2.3	543	2.1	95.5
経常利益	480	1.9	375	1.4	78.2
当期純利益	61	0.2	168	0.6	273.4
一株当たり利益 (円)	5.13		14.02		273.3



【単体サマリー】

(百万円)

	2012年10月期 第3四半期		2013年10月期 第3四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	24,317	100.0	25,695	100.0	105.7
売上総利益	7,733	31.8	8,144	31.7	105.3
営業利益	504	2.1	498	1.9	98.7
経常利益	508	2.1	517	2.0	101.8
当期純利益	100	0.4	242	0.9	241.5
一株当たり利益 (円)	8.37		20.22		241.6

2. 商品別売上高の状況

- ・書籍は超大型店の売上が寄与し、また売上数上位商品の充足率強化および定番商品の品揃え拡充、商品提案力の向上により売上の底上げを図ったことが奏功いたしました。
- ・レンタルは新作商品やオリジナル商品を中心に品揃えを強化したこと、また前期までの低価格戦略を転換し貸出料金の見直しをしたことで、売上は引き続き回復傾向にあります。
- ・文具は幅広い品揃えで魅力的な売場を構築した超大型店の売上が寄与し、また商品充足率強化・売れ筋商品の強化への取り組みが奏功し、売上を順調に伸ばしております。

(百万円)

		2012年10月期 第3四半期	2013年10月期 第3四半期			既存店
		金額	金額	増減額	前年比(%)	前年比(%)
蔦屋書店部門	書籍	11,028	12,013	985	108.9	101.0
	レンタル	5,142	5,207	65	101.3	101.2
	文具	2,126	2,354	228	110.8	99.2
	販売用CD	2,122	2,044	△78	96.3	91.1
	販売用DVD	1,320	1,283	△37	97.2	91.9
	その他	2,576	2,786	210	108.2	
小計		24,317	25,690	1,373	105.6	99.6
トップブックス部門計		555	524	△30	94.5	
グランセナ部門計		147	145	△1	99.0	
合計[連結]		25,019	26,360	1,341	105.4	

3. 出退店・改装の状況

- ・2013年3月に日本最大級である3,000坪の売場面積を有する超大型店「蔦屋書店 仙台泉店」を仙台市泉区に出店いたしました。また、2012年11月には茨城県ひたちなか市にも超大型店を出店し、2012年12月には既存店1店を大幅増床改装しリニューアルオープンいたしました。
- ・2013年1月31日に既存店1店閉店。

グループ合計店舗数 76 店舗 延床面積合計 42,405 坪

(1店当たり 平均 558 坪)

【2013年10月期 出店・改装実績】

	店名	場所	開店日/閉店日
新規出店	蔦屋書店 ひたちなか店	茨城県	2012/11/17
	蔦屋書店 仙台泉店	宮城県	2013/3/16
リニューアルオープン	蔦屋書店 新潟万代(大幅増床)	新潟県	2012/12/8
閉店	蔦屋書店 長野安茂里店	長野県	2013/1/31

4. 2013年10月期の業績予想

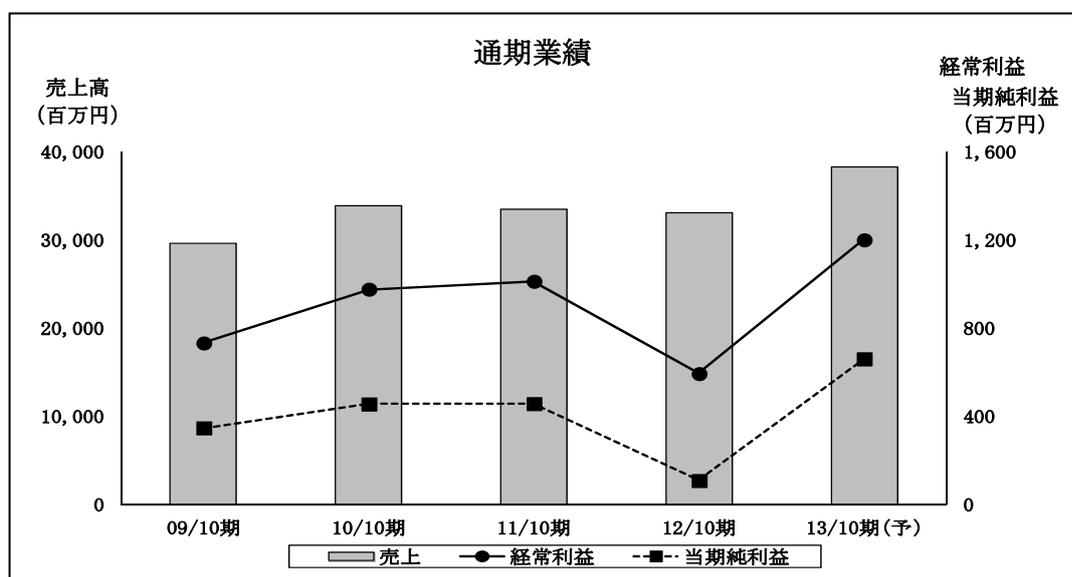
- ・2012年12月6日に公表した通期連結業績予想に変更はございません。
- ・魅力的な品揃えでお客様にご提案が伝わる売場づくりを進め、ご来店客数の増加に取り組んでまいります。また引き続き仕入原価の見直しや運営効率化に取り組み、大幅な収益体質の改善を図ってまいります。

【連結】

	2012年10月期		2013年10月期		前年比 (%)
	実績(百万円)	構成	予想(百万円)	構成	
売上高	33,114	100.0	38,300	100.0	115.7
経常利益	593	1.8	1,200	3.1	202.1
当期純利益	108	0.3	660	1.7	607.6
一株当たり利益(円)	9.05		55.00		

【単体】

	2012年10月期		2013年10月期		前年比 (%)
	実績(百万円)	構成	予想(百万円)	構成	
売上高	32,197	100.0	37,300	100.0	115.8
経常利益	647	2.0	1,160	3.1	179.1
当期純利益	165	0.5	630	1.7	380.8
一株当たり利益(円)	13.79		52.50		



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

蔦屋書店

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社トップカルチャー 取締役管理部長 遠海武則

TEL : 025 (232) 0008 / FAX : 025 (265) 1260

<http://www.topculture.co.jp>